

質問

早急にといが、どれくらい
の期間が必要か。市長の考えは
答弁（教育部長）

早くても5年程度はかかる。
答弁（市長）

5年というスタンスの中で進
めていきたい。

質問

石下東部地区幼稚園について、
想定している場所はあるのか。
大枠では福祉センターの南側と
理解して良いのか。

答弁（教育次長）

審議会の中で決定していき
たい。大枠ではその通り。

質問

補助金はあるのか、また補助
率ほどの程度か。合併特例債は
利用できないか。

答弁（教育次長）

国の補助では学校施設改善交
付金があり、補助率は3分の1。
合併特例債は要望していき
たい。

質問

小さい子を預かるため、幼稚
園と保育園を一体化する考えは。
答弁（市長）

市内でも私立の認定こども園
が間もなく完成する予定である。
答弁（保健福祉部長）

認定こども園の中では、ゼロ
歳児から幼稚園の対象者まで一

質問

私立にも負けない公立の幼稚
園をつくるという意気込みでや
ってもらえるか。

答弁（市長）

可能な範囲でしっかりとした
幼稚園を続けていきたい。

緒に見ることができ



老朽化した園舎（玉幼稚園）

市民会館の建設・報徳銀行解
体か修復か
(総括質問・一問一答)

小林 剛 議員



質問

水海道地区の
市民から市民会
館建設を要望す
る声がある。私

が言う市民会館は、多目的な複
合施設のこと、多くの人が集
まり、維持管理にもメリットが
ある。市民会館は建設しないの
か。また、報徳銀行は耐震補強
されておらず、東日本大震災で
被災し、倒壊の恐れがある。解
体か改修か決断しなければなら
ないと思うがどうか。

答弁（市長）

現状では市民会館をつくる計
画はないが、市民の要望も強く、
知恵を出して複合的な施設を模
索しながらつくる道は捨てるべ
きではないと思っている。

答弁（産業労働部長）

報徳銀行は文化財として価値
が高く、市民の広場と一体とな
った活用をするため、耐震化工
事を実施し、保存活用していく。

質問

市民会館の建設計画を策定す
ることはできるのではないか。

答弁（市長）

現在のところできない。

質問

報徳銀行の文化財指定の経緯
と危険と判断された時の教育委
員会の対応は。

答弁（教育部長）

文化財保護審議会において審
議され、市指定文化財となつて
いる。耐震化工事を行うことに

なれば、再度審議をし、その結
果により対応する。

質問

建物の危険度判定はしたのか。
答弁（産業労働部長）

改修工事を行うことを前提と
し、予算の中に盛り込んでい
る。

質問

市長として早急な決断が必要
ではないか。

答弁（市長）

耐震化工事をする方向で考え
ている。



旧報徳銀行水海道支店

常任委員会行政視察報告

総務委員会

期 日 10月17日

視察事項 香川県坂出市

「事業再検討について」

総務委員会では、総務・企画・財務及び情報政策に関する事項をテーマに先進地である香川県坂出市で事業再検討について研修を行いました。各事業の廃止・削減だけでなく必要に応じて施策の充実や強化を図ることも選択肢を含めて検討するものです。職員のみで構成された班で検討することにより、「削減ありき」でない自由な議論を期待できるうえ、職員の職務向上を目指す側面も併せ持つ内容であると感じました。

今後当

委員会で、地方自治における各種事業のあり方を含め、より良い市民サービスが実現できるような市当局に働きかけていきたいと思います。



総務委員長 喜見山 明

文教厚生委員会

期 日 10月17日

視察事項 石川県輪島市

「輪島市地域貢献見守り事業について」

文教厚生委員会では、社会福祉及び社会保障に関する事項をテーマに、行政視察研修を行いました。近年、少子高齢化が進む中、高齢者等の見守り体制の充実が求められています。輪島市では、民生委員等による従来の見守りだけではなく、民間企業等と協働で全市民を対象に見守り事業を行っています。市民の異変を察知した時は、市に通報してもらえ体制を構築し、市民の人命救助につながった事例も紹介されました。

当委員

会では、今回の研修で学んだことを生かし、市民が安心して生活できる体制づくりを、市当局に提案していきたいと考えております。



文教厚生委員長 坂巻 文夫

建設経済委員会

期 日 10月22日

視察事項 広島県三次市

「水道事業の民間委託について」

「出雲の真のブランド化事業について」

建設経済委員会では、水道事業及び下水道に関する事項、商業、工業及び労働に関する事項をテーマに行政視察を行いました。広島県三次市の研修を受け、常総市としても、市民に清廉な水を安定的に供給するため、官民連携により安心・安全な水道を将来にわたって持続させていくことが責務であると実感いたしました。また、島根県出雲市の研修では、「自治体の自主性、他市との差異化を図り「選ばれる市」となるために、これまで以上に市全体の価値や魅力の向上、市に対する信頼や好感を市内外から獲得することが重要と認識いたしました。以上のことを踏まえ、当委員会では、今回の研修で学んだことを最大限に生かせるよう、市当局

に働きかけていきたいと思います。



建設経済委員長 中村 博美